



## 天使大学の教育における3つの方針

### I 看護栄養学部

#### 1. 教育目的

「建学の精神」に基づき、本学部には看護学科と栄養学科を設置し、「健康」と「生活」という共通概念を基盤にして、人々の健康の回復と保持・増進、疾病予防、あるいは平和な死への援助を実現するため、それぞれ独自のアプローチを持ちながら、連携・協働して地域社会に貢献できる専門職業人の育成を目的とします。

そのため、看護・栄養の専門職性と豊かな個性と創造性の伸長を目指します。

#### 2. 看護学科

##### 【教育目的】

キリスト教的人間観に基づいて、人々の健康生活の保持・増進、健康の回復あるいは平和な死への生活の援助を、自律して実践できる人間性豊かな専門職者を育成する。

##### 【ディプロマ・ポリシー】

看護学科は、キリスト教的人間観に基づいて、人々の健康生活の保持・増進、健康の回復あるいは平和な死への生活の援助を自律して実践できる人間性豊かな専門職者として、以下の能力を身に付け、大学学則に基づく授業科目および単位数の修得など規定にある要件を満たした学生に対して「学士」（看護学）を授与します。

- 1) キリスト教的人間観に基づき、人間を全人的に理解し、多様な健康レベルにある人々の健康問題・課題の解決に取り組む能力
- 2) 保健医療福祉システムを理解し、多様な組織・社会において、他の専門職者と協働できる能力
- 3) 社会における政治的・経済的・文化的システムを理解し、柔軟に適応しながら環境を調整する能力
- 4) 対象の人権を擁護し、倫理的配慮に基づき、看護専門職者として、責任・役割を果たす能力
- 5) 国際的な広い視野と多様な環境下で生きる人々への看護実践について理解を深め、社会貢献できる能力

##### 【カリキュラム・ポリシー】

看護学科は、キリスト教的人間観に基づいて、人々の健康生活の保持・増進、健康の回復、あるいは平和な死への生活の援助を、自律して実践できる人間性豊かな専門職者を育成するために、以下のようにカリキュラムを編成しています。なお、看護基礎教育課程の内容は、保健師・助産師教育課程の基礎となり、上級看護実践または研究実施・成果活用のできる実践家養成をめざす大学院教育の基盤となるものです。

- 1) キリスト教的人間観に基づき人間を全人的に理解し、人間のスピリチュアリティと生命の尊厳を尊重できる豊かな人間性を養うために、建学の精神を具現化する科目や行事を配置する。
- 2) 多様な健康レベルにある人々の健康問題・課題を解決するための看護実践能力を養い、科学的根拠に基づいた看護実践や看護探求能力を養うための科目を配置する。さらに、



専門職としてのキャリア発達の基礎となる科目、看護の理解を深めるための科目や人間形成ならびに専門職者としての成長に寄与する科目を配置する。

- 3) 保健医療福祉システムの中で、他の専門職者と協働し問題を解決する能力を養うための科目を配置する。
- 4) 社会における政治的・経済的・文化的システムを理解し、環境を調整する能力を養うための科目を配置する。
- 5) 対象の人権を擁護し、倫理的配慮に基づき、看護専門職者として責任・役割を果たす能力を養うための科目を配置する。また、各領域の臨地実習を通して知識・技術・態度の統合を図り、批判的・科学的に思考し自律的に生涯学習し続ける態度を養うための機会とする。
- 6) 国際的視野を持ち、多様な環境下で生活する人々への看護実践を通し社会貢献する能力を養うための科目を配置する。

### 3. 栄養学科

#### 【教育目的】

人々の健康の保持・増進、健康の回復に向けて、栄養学を基盤とし、食を通して生活へのサポートを自律して実践できる専門的能力を養う。

#### 【ディプロマ・ポリシー】

栄養学科は、キリスト教的人間観に基づいて、人々の健康生活の保持・増進、健康の回復に向けて、栄養学を基盤とし、食を通して生活へのサポートを自律して実践できる人間性豊かな専門職者として、以下の能力を身に付け、大学学則に基づく授業科目および単位数の修得など規定にある要件を満たした学生に対して「学士」（栄養学）を授与します。

- 1) キリスト教的人間観により人間を全人的に理解する能力
- 2) 人間を取り巻く「食」を科学的視点から幅広く理解する能力
- 3) 人間栄養学の専門的知識と技術を修得し、人々に貢献する能力
- 4) 人間と環境の相互作用を理解し、対応できる能力
- 5) 社会システムを理解し、社会の変化に柔軟に対応できる能力
- 6) 課題を探求し、判断し、意思決定ができる能力
- 7) 保健医療福祉システムの中で円滑な人間関係を築き、他の専門職者と協力して、目標に向け推進する能力
- 8) 人間愛に基づき専門職者として国際社会に貢献する能力

#### 【カリキュラム・ポリシー】

栄養学科は、キリスト教的人間観に基づく、人々の健康生活の保持・増進、健康の回復に向けて、栄養学を基盤とし、食を通して生活へのサポートを自律して実践できる人間性豊かな専門職者を育成するために、以下の教育目標を掲げ、これを達成するためのカリキュラムを編成しています。

- 1) キリスト教的人間観により人間を全人的に理解する能力を養う
- 2) 人間を取り巻く「食」を科学的視点から幅広く理解する能力を養う
- 3) 人間栄養学の専門的知識と技術を修得し、人々に貢献する能力を養う



- 4) 人間と環境の相互作用を理解し、対応できる能力を養う
- 5) 社会システムを理解し、社会の変化に柔軟に対応できる能力を養う
- 6) 課題を探求し、判断し、意思決定ができる能力を養う
- 7) 保健医療福祉システムの中で円滑な人間関係を築き、他の専門職者と協力して、目標に向け推進する能力を養う
- 8) 人間愛に基づき専門職者として国際社会に貢献する能力を養う

#### 4. 教養教育科目

##### 【カリキュラム・ポリシー】

教養教育科では、建学の精神に基づき、人間として普遍的価値観を養い、グローバル化、情報化、少子高齢化などの社会変化に対応できる能力を身につけ、それぞれの学科で学ぶ高度な知識や技術を統合・発展させ、広く社会に貢献できる人材の育成を目指し、以下の目標を掲げ、これを達成するための教育課程を編成します。

- 1) 実践科学としての看護、栄養に必要な思考力や高度な知識と技術を持った実践家を育成する専門科目の基礎となる知識や技術を修得させる。
- 2) キリスト教に関する知識を授けると共に、教育理念に基づく価値観を形成し、真理を探究する人材を育成する。
- 3) グローバル化、情報化、少子高齢化などの社会変化に対応しながら地域社会に貢献できる基礎的な能力を養う。
- 4) 看護学科および栄養学科の共通概念である健康と生活について、幅広い分野の知識を活用して思考するための基礎的な能力を養う。
- 5) 様々な学問分野の知識に基づいて多面的に人間を理解できる能力を養う。

#### 5. 看護栄養学部のアドミッション・ポリシー

- 1) 本学の教育理念に関心を持ち、本学での学修に意欲と熱意をもっている人
- 2) 看護師・保健師・助産師・管理栄養士・栄養士・栄養教諭の職業を通して、人の役に立ちたいと思っている人
- 3) 人間、いのち、健康、生活に対して関心をもっている人
- 4) 他者に関心を持ち、豊かな人間性とあたたかい心で人との対話ができる人
- 5) 基本的な生活習慣が身に付いていて、自分自身の健康管理ができる人
- 6) 入学後の学修に必要な基礎学力としての知識や技能をもっている人
- 7) 自ら考え学修する意欲を持ち、問題状況を的確に把握し、その解決に向けて主体的な行動がとれる人



## II 大学院看護栄養学研究科

### 1. 教育理念

天使大学大学院看護栄養学研究科は、カトリック教育機関として「愛をとおして真理へ」を建学の精神としている。本研究科はこの建学の精神のもと、看護学・栄養学の各専門分野における高度な専門職業人、教育や専門分野のリーダーとなる人材を育成するとともに、人間の「健康」と「生活」の支援に共通する「看護」と「栄養」を組み合わせた学修を通して、地域住民の保健・医療・福祉の発展に寄与するものである。

### 2. 教育目的

天使大学大学院看護栄養学研究科は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の理論及び応用を教授研究し、建学の理念であるカトリック精神に基づく「愛をとおして真理へ」に生き、知的、専門的及び応用的能力を発揮して、人間愛をもって社会の発展に寄与する高度専門職業人を育成することを目的とする。

人材養成に関する目標を次のとおり定める。

- (1) 看護学専攻修士課程においては、看護学に係る最新の知見と高度な専門技術を学修し、保健医療福祉分野の発展に貢献できる高度な専門性を有する人材を育成する。
- (2) 栄養管理学専攻博士前期課程においては、栄養管理学に係る最新の知見と高度な専門技術を学修し、保健医療福祉分野の発展に貢献できる高度な専門性を有する人材を育成する。
- (3) 栄養管理学専攻博士後期課程においては、栄養管理学に係る先端的な教育及び研究を行うことにより栄養管理学の高度の専門知識と技術を教授し、自立して研究活動を行い、卓越した教育上の指導能力を有する人材を育成する。

### 3. ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシー

#### (1) 看護学専攻修士課程および栄養管理学専攻博士前期課程

##### 【共通ディプロマ・ポリシー】

- ・キリスト教的人間観を基盤に専門分野の知識と倫理観を保健・医療・福祉に応用できる。
- ・専門分野において主体的に活動し、関係者と連携・調整を図り、課題解決を推進することができる。
- ・専門分野の高度な知識を身に付け、科学的根拠に基づく総合的判断を研究と実践に適用できる。
- ・専門分野の課題について、研究方法を選択し、研究成果をまとめることができる。

##### 【共通カリキュラム・ポリシー】

天使大学大学院看護栄養学研究科は、学士課程における看護学・栄養学を基礎として、各専門分野における人間の「健康」と「生活」の支援に共通する「看護」と「栄養」を組み合わせた学修をとおして、地域の保健・医療・福祉の発展に寄与することのできる高度な専門職業人と研究者・教育者としての基礎的能力を育成する。看護学専攻並びに栄養管理学専攻のカリキュラムはともに、両専攻共通科目、専門基礎科目、専門科目から構成される。



## (2) 看護学専攻修士課程

### <修士論文コース>

#### 【ディプロマ・ポリシー】

- ・キリスト教的人間観を基盤に看護の理念に基づく倫理観をもって、実践・管理・教育・研究ができる。
- ・専門分野の高度な知識・技術を修得し、理論、分析・評価力をもち専門性の高い看護実践ができる。
- ・グローバルな視点を持ち、国内外の研究成果を取り入れ、看護実践・研究・教育に貢献できる。
- ・ケアの質向上のためにシステムを評価し、解決に向けて多職種と連携・協働し、環境を調整できる。
- ・専門分野の課題を洞察し、適切な方法を選択し成果をまとめる基礎的研究能力を身につけている。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

- ・専門性の異なる院生の共通の学修の場をとおして、研究や実践の基礎となる理論や学問を学び、総合的な視野をもった実践の基礎的能力を修得するために、両専攻共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての看護の実践と研究、教育を推進できる基礎的能力を養うために、看護理論、看護倫理、看護研究、看護教育、看護管理などの専門共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての専門基礎となる知識・技術を修得するために、広範囲な学問領域にわたり必要な科目を専門基礎科目として配置した。
- ・専門領域における高度な看護実践や研究に必要な能力を養うことを目的に各専門領域に特論、演習科目を配置し、看護実践やエビデンスを追求し、学修を深める。
- ・高度専門職として看護の責務を遂行するために、自己の課題を見出し、主体的・継続的に学び、科学的に探究する研究の基礎的能力を修得するために、特別研究を行う。

### <ホスピス緩和ケア看護学コース>

#### 【ディプロマ・ポリシー】

- ・キリスト教的人間観に基づく全人的ケアを実践できる。
- ・各専門分野における倫理的配慮意思決定支援ができる。
- ・専門的なエビデンスに基づく実践・相談・教育ができる。
- ・高度なコミュニケーション能力に基づく多職種連携・調整することができる。
- ・組織変革・政策提言に必要な変化エージェントの役割意識を有している。
- ・基本的な研究能力を有し、課題研究を今後の実践に結び付けて説明できる。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

- ・共通科目 A 群は、看護の実践と研究・教育の基盤となる能力の養うために、看護理論特論、看護倫理特論、看護研究、看護教育特論、看護管理特論、コンサルテーションを配置した。



- ・ 共通科目 B 群は、専門分野の実践の根拠となる基礎的知識を修得のために、基礎科目として、病態生理学、・フィジカルアセスメント、臨床薬理学を配置した。
- ・ 専門分野の専門科目は、専門分野の基礎科目、専門科目における高度な知識・技術・態度を修得し、実践において統合するために専門領域の臨地実習を行う。
- ・ 課題研究は、専門領域特有の課題を研究し、学位論文としてまとめる科目である。

#### <保健師コース>

##### 【ディプロマ・ポリシー】

- ・ キリスト教的人間観を基盤に公衆衛生看護の理念に基づく倫理観をもって公衆衛生看護ができる。
- ・ 科学的根拠と文化的感受性をもって地域の健康課題を明確にし、関係者と共有することができる。
- ・ グローバルな視点で将来を見据え、地域ケアシステムを評価し、施策化、政策化を提言できる。
- ・ 人々の健康増進能力を高め、複雑な健康課題を解決するために関係者と連携・協働して支援できる。
- ・ 公衆衛生看護実践における課題を見出し、適切な研究方法を選択し、成果をまとめることができる。
- ・ 保健師の責務を遂行し公衆衛生看護の向上を図るために自ら課題を見出し主体的に学ぶ姿勢がある。

##### 【カリキュラム・ポリシー】

- ・ キリスト教的人間観と公衆衛生看護の理念、看護職としての倫理観のもと公平な看護を自律して実践できる保健師の養成に必要な科目を主体的に学修するプログラムを提供する。
- ・ 人々の健康を多面的にとらえ科学的根拠をもって分析できる力を育成するために、公衆衛生大学院のグローバルスタンダードとされる分野を網羅する専門基礎科目を提供する。
- ・ 個人・家族、集団に対する基礎的支援能力を強化するために、援助過程を論理的に思考し、専門性の高い実践に必要な科目を設定し、実習のプログラムを提供し実践能力を獲得する。
- ・ 地域特性に応じた看護活動を展開できるようになるために、演習と実習を段階的に配置し、地区活動を通して解決に向けた取り組みを住民と協働して実施するプログラムを提供する。
- ・ 保健師としてグローバルな視点で地域の将来を見据え、人々の健康と生活を護るための社会資源の開拓やケアシステム構築、政策提言できる能力を育成するプログラムを提供する。
- ・ 保健師としての責務を遂行するために専門性を高め、自己の課題を見出し主体的・継続的に学び、科学的に探究する能力を育成するために、公衆衛生看護課題研究を提供する。



### (3) 栄養管理学専攻博士前期課程

#### 【ディプロマ・ポリシー】

- ・キリスト教的人間観を基盤に倫理的な配慮を行い、人間の「健康」と「生活」の支援に必要な基礎知識を身に付け保健・医療・福祉に応用できる。
- ・栄養学の専門分野における問題についてグローバルな視点を持って主体的に探究し、連携・調整を図りながら問題解決方法を考えることができる。
- ・栄養学の専門分野における高度な知識を身に付け、研究および栄養管理の実践に適用できる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、適切な研究方法を選択し、研究成果としてまとめる事ができる。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

- ・キリスト教的人間観を基盤にした倫理的な配慮を身に付ける。
- ・人間の「健康」と「生活」の支援に必要な学修を通して、地域の保健・医療・福祉の現状について議論できるだけの知識を身に付ける。
- ・グローバルな視点を持つこと、連携・調整を図ることの重要性を学ぶ。
- ・専門分野での実践と研究を支える科目を開設し、統計学や疫学の基礎理論を身に付け、主体的に探究し研究する方法を学ぶ。
- ・食品と栄養に関わる問題を解決するうえで必要とされる高度な知識を身に付け、研究専門分野への応用実践力を養う。
- ・栄養学の専門分野の知識を深め、それを応用し演習・研究を行い、自ら問題解決を行う能力と研究能力を養う。

### 4. 栄養管理学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシー

#### 【ディプロマ・ポリシー】

- ・専門的かつ高度な教育及び研究を通して栄養管理学の先端的および実践的な知識を身に付け、保健・医療・福祉に貢献できる。
- ・栄養管理学に関わる課題においてグローバルな視点を持って主体的に探究し、自立して研究を行うことができる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、研究をとおして課題解決の方法を提示できる。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

- ・栄養管理学に関わる先端的な教育および研究をとおして、社会に貢献できる卓越した能力を育成する。
- ・基礎系と実践系に体系化し、専門的かつ高度な研究を行い、自立して研究する能力を養う。



5. 大学院看護栄養学研究科のアドミッション・ポリシー

- ① 専門分野の発展に貢献したい人
- ② 高度な専門職業人として社会貢献を志す人
- ③ 人間として専門職業人としての高い倫理観を探究したい人
- ④ 専門的なコミュニケーション能力の向上を目指す人
- ⑤ キリスト教的人間観に基づく人間愛の実践を志す人



### Ⅲ 大学院助産研究科

#### 【ディプロマ・ポリシー】

天使大学大学院助産研究科では、以下の修了要件を満たした学生の修了を認定します。

1. 教育理念に基づいて、分野ごとに定められた期間在籍し、所定のカリキュラムによって学修を終え、所定の単位を修得し、最終試験に合格していること。
2. 高度な専門職業人に必要な、理論と実践の基本となる能力を修得していること。
3. 本学の「愛をとおして真理へ」の建学の精神に則り、高度な職業倫理を形成していること。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

天使大学大学院助産研究科では、カトリック大学として人間の尊厳を重んじ、キリスト教的人間観・価値観および世界観に基づくケアを展開できる、助産専門職業人を養成するために、助産基礎分野、助産教育分野を置き、以下のような方針に基づいてカリキュラム(教育課程)を編成しています。

1. 豊かな人間性と人間関係能力をもち、女性のリプロダクティブ・ライフを自律して支援できる高度な専門職業人、助産師に必要とされる科目を提供する。(基礎科目)
2. 助産師として、生命の始めから人間の存在に畏敬の念を持ち、対象理解に基づくケアを探求する科目を設置する。(基礎科目)
3. 妊娠期～産褥・育児期の母児に起こる、人間の神秘的な心身のしくみを理解し、自然の機能を最良の状態を発揮できる援助に必要な実践専門科目を設置する。(実践専門科目)
4. 精深な知識を学修し、情報収集から分析、問題解決の過程を論理的に思考する科目、および臨床実習を通して、助産学の理論を実践行動に統合する科目を設置する。(実践専門科目)
5. 女性のライフサイクルにわたる健康問題を、地域およびグローバルな視野を持って支援できる科目を設置する。(発展・展開科目)
6. 助産教育分野では、助産実践の理論と実践能力を点検し自らの助産の基本を確立、助産師を目指す学修者の支援に必要な、教育師指導の知識、スキル、態度を学修する科目を設置する。(発展・展開科目)

#### 【アドミッション・ポリシー】

- (1) 「愛をとおして真理へ」という建学の精神のもと、女性を支え、生命を育む助産師になることを強く希望する人
- (2) 論理的思考ができる人
- (3) 共感的なコミュニケーションができる人
- (4) 助産師としての実践能力と自律を志向する人
- (5) 大学院助産専攻(専門職学位課程)で学修する意欲を備えた人
- (6) 《助産教育分野》自らが助産実践能力を備えており、優れた助産師の育成を志向高い倫理観を有し看護専門分野の発展に貢献できる、専門職業人を志す人